New　Renewal　DX 対応コース　GX 対応コース　Online　競技会　セット推奨

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名				期間	
4407	**電気系指導員のための建築構造と工事の知識１(建築物の種類と構造)**				**令和8年11月12日(木)～11月13日(金)**	
開催会場	職業能力開発総合大学校(東京都小平市)				定員	日数
					10	2
研修種別	技能・技術分野	電気	技能・技術レベル	L2	技能・技術要素	電気設備設計

研修のねらい及び到達目標	電気設備工事は建築工事の一部であり、電気工事の訓練の担当やインターンシップの指導をする指導員にとって建築構造に関する知識は必須のものです。本研修では、建築を専門としない、主として電気系指導員を対象に、電気工事の訓練に付帯する主要な建築構造(RC造、S造、木造)および建築工事についての概要の習得を目指します。 （到達目標） ・建築構造・工事に関する基本的な専門用語を理解できる ・主要な構造材とそれ以外の材の識別ができる ・建築構造・工事に関する主要な部位や構造・形状の名称や役割が分かる
最低限必要な知識	特になし(第二種電気工事士程度の初歩的な電気設備の知識があることが望ましい)。

	項目（予定）	講義	実技・演習
研修内容	1 建築工事の概要 （1）建築工事と電気設備工事 （2）施工管理における4つの管理・工事関係者（現場代理人・監理技術者等）の役割 （3）関係法令（建設業法と電気工事業法） （4）基本となる建築用語	3H	
	2 建築物を理解するための構造力学の基礎知識 （1）力のつり合いとモーメント （2）N図・Q図・M図 （3）静定と不静定	4H	
	3 建築構造 （1）構造設計の基礎 （2）荷重と外力 （3）地盤・基礎 （4）鉄骨造（S造）建築物の構造 （5）鉄筋コンクリート造（RC造）建築物の構造 （6）木造建築物の構造	4H	
	4 電気設備工事の概要	0.5H	
	5 まとめ・ディスカッション	0.5H	
		12H	

リニューアルの概要及びアピールポイント	主に、電気工事や施工管理関係の訓練を担当されている方を受講者として想定していますが、他分野の方やこれから電気工事を担当する予定の方も参加いただけます。 好評でしたので、旧コースを「電気系指導員のための建築構造と工事の知識１（種類と構造編）」と「〃２（建築材料と施工法）」の2コースに分離しました。どちらから受講いただいてもかまいません。

研修成果が活用できる職務	職務１	職務２	職務の内容

担当教員（予定）	五十嵐 智彦、吉水 健剛(電気設備ユニット)、外部講師
使用する機器等	テキスト
受講者が用意するテキスト（予定）	田中毅弘・西井久人 著：「合格対策 建築設備士試験 [第3版] 学科［建築一般知識・建築法規］」、地人書館、ISBN：978-4-8052-0940-0